

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	大阪府	市町村名		大学名	
派遣日	令和3年9月13日(月曜日) 14:00~16:00 Microsoft Teamsによるオンライン開催				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 派遣 / 遠隔				
派遣場所					
アドバイザー氏名	認定NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ (Me-net) 事務局長 高橋 清樹 様				
相談者	大阪府教育庁教育振興室高等学校課生徒指導グループ				
相談内容	【申請時】 <ul style="list-style-type: none">・ 全国の公立高校の支援の現状・ 全国において先進的な取り組みをしている事例の紹介・ アドバイザーのこれまでの経験・取組 (神奈川県取組)・ 学校に求められる支援 (アセスメント、学習支援、進路支援等)・ 教育委員会と学校との連携・ 日本語指導が必要な生徒で発達に課題のある生徒支援・ 在留資格による進学や就職における課題 等				
派遣者からの指導助言内容	<ul style="list-style-type: none">➢ 外国につながる子どもたちの状況 学習の定着や進路の壁等があるが、それを乗り越えると逆境に強い社会で活躍できる人物が育つ➢ 神奈川県での取組み 各種資料の作成や進学ガイダンス、人材派遣についての情報提供。また、NPOと行政との連携会議の中で調査研究したことを元に政策提言をして課題共有することにより良い制度設計につながっている➢ 認定NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ (Me-net) について 元高校教員と支援者のグループで進学ガイダンスを実施するための組織であったが、その後、居場所・学習支援、高校連携、相談支援事業、ネットワーキング等を実施している➢ 効果的な学習指導の例 具体的な学習の仕方やICTを活用して学べる教材の紹介➢ 課題 (高校の中途退学率、在留資格等) 全国や神奈川県においての中退や進路の実態についての情報提供 在留資格の現状と今後の推移、また進学就職における家族滞在の課題を共有➢ 今後の多文化共生教育について 子どもたちの多様性や生きづらさについて、周囲が受けとめともに考えること➢ 国の動向や全国の状況及び神奈川県の資料提供				

(様式3)

相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<ul style="list-style-type: none">➤現在、高等学校課で実施している事業の再構築について協議しており、今後の事業方針の参考にする。➤ICTを活用した学習や支援について、今回の研修を参考に具体的な取組を進める。➤今後、家族滞在が急激に増えていくことが予測される中、教育行政において担う役割について検討する。
--------------------	--

1枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、[文部科学省ホームページ](#)で公開いたします。